

特定事業計画の事後評価について

特定事業進捗管理シート（平成26年度）

担当部署 京成電鉄株式会社 部 課

取組方針（目的） 例) 駅利用の安全性及び移動性の向上を推進する

担当者名

評価値 凡例
A: 100% (実績進捗率) C: 50~70%
B: 70~90% D: 50%以下

右記の凡例をご覧ください、実績（進捗率）をA~Dでご記入ください。

取組内容（基本構想）		取組の評価			実施状況		取組の効果	
取組	概要	計画期間			実績（進捗率）	取組状況	評価値	
		短期	中期	長期				
例) 駅（線）入口	線 駅 口の階段を改修し、スロープを併設する。				平成27年度完了 80%程度	基本設計、実施設計完了、既存階段撤去中	B	
商店エレベーター	店舗の改装工事をするときに、エレベーターの設置を検討します。				平成34年度完了 10%程度	店舗改装の時期及び新規店内レイアウト検討を開始した。	D	

左記の事業完了目標年度、現在の取組状況から概ねの実績（進捗率）をご記入ください。

この欄には今年度、特定事業に取り組んでいただいた経験とおし、来年度以降の方針をご記入ください。

事業実施箇所が分かる図面を添付してください。 ex) 平面図、詳細図等。無い場合は別途ヒアリングさせていただきます。

担当部署 荒川区防災都市づくり部道路公園課

取組方針（目的） 安全で快適な利用の確保のため計画的な予防保全対策により公園施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの低減や事業費の平準化を推進する。

評価値 凡例
A: 100% (実績進捗率) C: 50~70%
B: 70~90% D: 50%以下

取組内容（基本構想）		取組の評価			実施状況		取組の効果	
取組	概要	計画期間			実績（進捗率）	取組状況	評価値	
		短期	中期	長期				
荒川公園 園路	園路の舗装（インターロッキングブロック）が凸凹の箇所は樹木の根による影響と思われるので調査して対応します。				平成23年度完了 100%	・現地調査から不良部分については修繕した。 ・不良部分が発生した場合には適宜修繕を施している。	A	
荒川公園 北トイレ（追加）					平成25年度完了 100%	・建替えにより多目的トイレを設置	A	
荒川自然公園 出入口	平成23年度に、荒川二丁目入口にエレベーターを整備する予定です。整備にあわせエレベーターに続く通路も改修します。				平成23年度完了 100%	エレベーターの整備にあわせ、通路の全面改修を実施した。	A	
荒川自然公園 園路	段差がある箇所における防護柵の不備は、調査して対応します。園路の舗装の凸凹は、樹木の根が原因と考え					・第1期部分は現地調査から不良部分については修繕を施し、27年度に		



日暮里・舎人ライナー

特定事業進捗管理シート（平成26年度） 熊野前駅周辺地区

担当部署 東京都交通局建設工務部計画改良課（関連部署：建設工務部建築課、電車部営業課）

実際の仕上がりはユーザーが評価する必要があります。

後程現場でチェックをしてみましょう。

取組内容（基本構想）		取組の評価			実施状況		取組の効果	
取組	概要	計画期間			実績（進捗率）	取組状況	評価値	
		短期	中期	長期				
熊野前駅（日暮里・舎人ライナー）通路	1 - 分岐点において手すりに点字を貼り付け行き先を提示します。				平成26年度完了 100%	改札、南口出口、尾久小口出口を案内する点字サインを分岐点の手すりに設置	A	
熊野前駅（日暮里・舎人ライナー）階段	2 - 階段の段鼻に明度差つけ、視認性の向上を図ります。				平成28年度完了 0%	視認性の向上方法を検討中	D	

今後の取組方針

上記の内容について、階段の視認性向上等に向け、次年度以降も継続的に取り組んでいきます。都営交通におけるさらなるバリアフリー化を進め、お客様により良いサービスを提供することを目指してまいります。

【特定事業計画・事業者による自己評価を踏まえた今後の課題等】

- ・鉄道
 - 交通局：旧法のガイドラインを用いているため、まだ新しい日舎ライナーでも整備水準に合致しない点が散見される。ガイドライン準拠を申し入れたい
 - JR：ホームドア設置（山手線について、順次整備中）三河島に問題有りで協議中
 - 京成：細かな事業が多数あるものの、新三河島駅に多機能トイレ設置予定
 - メトロ：構造的な問題により対応が困難な場合は、人的支援によりしっかりとサポートする体制を整えている点は高く評価できる
- ・バス：車両についてはノンステップ型になっているが、都バスに関しては停留所や社内アナウンスなどではまだまだ課題が多い
- ・道路：出来る箇所から随時対応をしているが、ガイドラインに合致しない箇所が散見されるため、整備の際にはガイドラインの水準を申し入れたい
- ・公園：予算規模が少ないながら順次整備を行なっている点は十分評価できる
- ・建物：民間の努力は評価できるが、公共については理解がまず不十分である
- ・警察：安全の最優先という視点とは逸脱した箇所が散見されるため、十分な対応となるよう積極的に住民意見をとり次いでいきたい

【平成23年度策定】

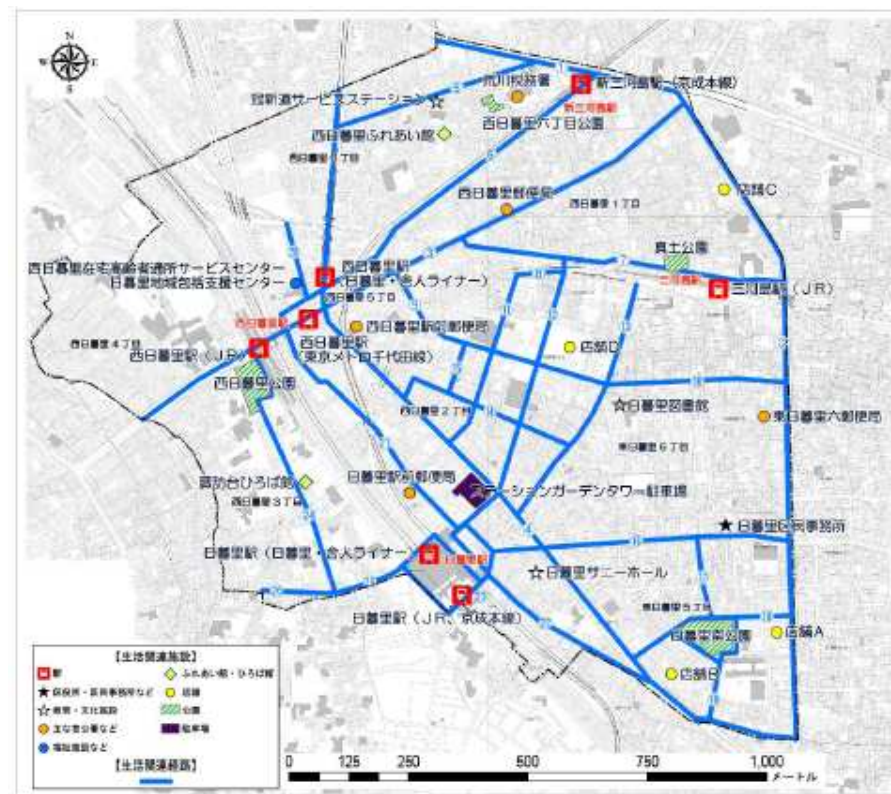
日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区バリアフリー基本構想

基本方針

駅を中心に一定のバリアフリー化が進んでいる日暮里駅周辺については、鉄道駅並びに各種施設相互を連絡する経路について、既存バリアフリー化区間との連携を含め、地区全体として、誰もが安全で円滑に移動できる「バリアフリーネットワーク化」の拡充を推進します。

日暮里駅・西日暮里駅を始めとした公共交通機関のターミナルとしての機能が充実した、区内外の多くの利用者が行き交う地区であり、隣接地区等との連携を考慮した「重点的なバリアフリー化」を推進し、他の重点整備地区への波及並びに区全体への展開を目指します。

地区内の生活関連施設、生活関連経路における施設のバリアフリー化の推進と合わせ、ソフト面の取組や多様な利用者のバリアフリーに対する“気付き”を高めるため、「心のバリアフリー」を推進します。



本地区の基本構想の特徴

- ・旧法（交通バリアフリー法）に基づきバリアフリー整備を実施中である日暮里駅周辺地区を含んでいる。
- ・基本構想策定にあたって、現行計画のフォローアップを実施した。

【平成24年度策定】

南千住駅周辺地区バリアフリー基本構想

基本方針

バリアフリー化に当たっては、東西地区で市街地の形成過程等の特性が異なる地域において、地区特性に応じた施策を展開し、地域全体として、誰もが安全で円滑に移動できる「バリアフリーネットワーク化」の拡充を推進します。併せて、隣接する台東区と連携した取組を行います。

地区内の生活関連施設、生活関連経路における施設のバリアフリー化の推進と合わせ、ソフト面の取組や多様な利用者のバリアフリーに対する“気付き”を高めるため、「心のバリアフリー」を推進します。

南千住駅や駅周辺商業施設、区民利用施設などが立地し、区内外の多くの利用者が行き交う地区であり、隣接地区などとの連携を考慮した「重点的なバリアフリー化」を推進し、他の重点整備地区とともに区全体への展開を目指します。



本地区の基本構想の特徴

- ・台東区に隣接し、両区民が相互に利用する施設が多いことから、住民部会（まちあるき点検）等を台東区と連携して実施した。
- ・大規模な商業施設が多く立地し区民の利用も多いことから、本地区から、民間建築物についても特定事業計画を策定した。民間建築物については、計画策定中に対策が実施されるなど事業者による迅速な対応があった。
- ・過去の2地区で実施していた「区民による取り組み」を発展させ、住民部会で、区民が主体となった具体的な活動内容についても検討した。

【平成25年度策定】

熊野前駅周辺地区バリアフリー基本構想

基本方針

区民の外出機会を促進し健康増進にもつなげるために、都電やコミュニティバスなどの新旧交通手段を活用し、地区内の病院、公園、大学、商店街等を連絡するとともに、ソフト・ハードによる適切な情報提供を行います。

これまでに地区別基本構想を策定した重点整備地区の成果を踏まえ、ソフト面の取組や多様な利用者のバリアフリーに対する“気付き”を高めるための「心のバリアフリー」を推進します。施設の更新・再整備やハードを補完するソフト対策における住民参加を促進するとともに、継続した住民参加の取組を区全体に展開することを目指します。



本地区の基本構想の特徴

- ・首都大学東京荒川キャンパスや東京女子医大東医療センターが立地し、商店街も多く、これまでの地区よりも生活に密着しているエリアである。
- ・都電やバスといった生活交通を軸に据え、具体的な整備項目よりも移動環境に着目している特徴があげられる。
- ・心のバリアフリーの実践段階へ入るべく、過去の3地区で実施していた「区民による取り組み」を発展させ、住民部会で、区民が主体となった具体的な内容を実施することができた。